

診療科目：腫瘍内科（包括的がん診療）

カテゴリー：必修科目、選択科目

一般目標：腫瘍内科診療の基本を、主として病棟診療を通して学び、すべての内科医に必須な包括的がん診療の知識と技能を修得する。

【個別目標】

- ・ 包括的がん診療の基本的かつ実践的な知識・技能の習得
- ・ 腫瘍緊急症への対応方法の習得
- ・ 他科へのコンサルテーションの基本的姿勢の習得

【指導原則・方法】

1. 腫瘍内科の病棟患者を、主治医とともに担当医として常時 10 人程度担当する。病棟患者の診療を通して、がん薬物療法や緩和医療について知識と技能を修得する。
2. 月・火・木・金に開催されるカンサーボードで、5 大がんの治療方針の決定過程を学ぶ
3. 水曜の緩和ケアチームカンファレンス・ラウンドに参加し、診断時からの終末期までの緩和ケアの実践に関して 知識や技能を学ぶ。
4. 集学的治療を行う患者の診療を通して、放射線治療の適応や実施の方法、治療を受ける患者のケアに関して、知識や技能を学ぶ。
5. 緊急で入院を要する患者の対応をどうして、がん治療中の緊急事態への対処を学ぶ。

腫瘍内科からのメッセージ

日本人の 2 人に一人ががんに罹患し、3 人に一人はがんで亡くなっている現在、がん診療と無関係に内科診療を行うことは不可能です。すべての研修医に腫瘍内科（包括的がん診療）のプログラムを初期研修中に履修することを強く勧めます。

当院は、高岡医療圏のがん診療連携拠点病院で、富山県西部から広くがん患者さんが集まる中核施設です。その分多くの症例を経験することができます。ぜひ、たくさんの方の事を学んでください。